

前回会議で頂いた意見等に対する回答

・ p 1 0 1 地震を対象としない理由を記載したほうがよい。

→愛知県内の他市町村の記載事例を確認したところ、地震を分析の対象としないことを説明している例はほとんどなく、記載している例では、春日井市と同様で都市計画運用指針の表現を参考としておりました。そのため、地震を対象としない理由について、変更又は追記は行わない方針です。

・ p 1 4 2 ハード対策も含めた重層的な対策という記載が分かりにくい。

→ハード対策・ソフト対策による重層的なという記載に変更しました。

・ p 1 4 2 取組方針について、個別の防災計画をもって対策を行っているため、居住誘導区域を維持し居住することは問題ないと、方針と対策を分けて記載したほうがすっきりするのではないか。

→p 1 4 0 の①居住誘導区域のあり方の整理では、『これまでに形成されてきた市街地を活かしつつ、市民等の命・生活を守るための防災・減災の取組を進めることで、居住誘導区域を維持する方針とします。』と記載しており、p 1 4 2 の（１）防災・減災まちづくりの将来像では、『災害リスクが想定される区域を置き換える形で新たに郊外に市街地を形成していくことは現実的に困難と考えられることから、これまでに形成されてきた市街地を活かし、居住誘導区域を維持する方針としました。』と記載しており、表現が統一できていないことが分かりにくい原因と考え、表現が同じになるよう p 1 4 2 を修正しました。

変更前

新たに郊外に市街地を形成していくことは現実的に困難と考えられることから、これまでに形成されてきた市街地を活かし、居住誘導区域を維持する方針としました。

変更後

新たに郊外に市街地を形成していくことは現実的に困難と考えられます。そのため、これまでに形成されてきた市街地を活かし、**想定される災害リスクから市民等の生命と財産を守るため、防災・減災に向けた取組を推進することで、**居住誘導区域を維持する方針としました。